

作成日：2023年3月31日（金）
作成：永井ゼミ（環境経済学ゼミ）
永井リサ（経済学科 専任講師）

【2022年度 帝京大学 TABLE FOR TWO 実施報告書】

■本企画の目的：

SDGs 17の目標中、SDGs1、2、3、4、10、15、17に関係する寄付付き学食である「TABLE FOR TWO」活動をソラティオキッチンと葛友館食堂で実施した。

■本企画の内容：

①寄付つきメニューの販売：

ソラティオキッチンと葛友館学食にて、発展途上国児童の給食費となる20円を付加した「TFT定食」を隔週、計12回提供し、その売上総数（1,612食×20円＝32,240円）をNPO法人「TABLE FOR TWO international」に寄付した。

②学内SDGs活動の実施：

学内SDGs活動である「TABLE FOR TWO プログラム」での寄付金付きヘルシーメニュー提供を通じて、学生におけるSDGs及び社会貢献活動への関心を高めた。

③帝京大学総合博物館におけるゼミ活動に関する展覧会と講演会の実施

昨年度、大きな成功を収めた帝京大学でのTFT活動を学外にPRするため、「帝京大学八王子キャンパス 学生チャレンジ制度」に「20円で発展途上国の子供たちに笑顔と健康をー展示で見る「帝京大学八王子キャンパスのTABLE FOR TWO活動」についてー」というテーマで応募・採択された。その助成金を使用し以下の展覧会と講演会を博物館で実施した。

（1）ゼミ活動展覧会（帝京大学総合博物館）

10月13日～11月9日にかけて、帝京大学総合博物館でTFT活動に関する展覧会を開催した。展覧会内容は以下になる。

第1部：「“TABLE FOR TWO”って？～帝京大学の活動に迫る～」…1部では、国際NPO法人である「TABLE FOR TWO」や、このNPOが提供し私たちが参加している「TFTプログラム」についての紹介。

第2部：「ゼミトーク！～私たちのTFT活動～」…2部では、永井ゼミのゼミ活動の様子や、ケニアの食文化についての紹介。普段、どんな風に学生たちがメニューを提供しているのかを展示した。

第3部：「20円につながる世界～ケニアの現状とTFT支援～」…3部では、寄付先の一つである「ケニア」がどんな国なのか。なぜ子供たちの給食費の寄付が必

要なのか。そしてそのケニアで TFT の寄付金がどのように使われているのか、また N P O の TFT が一体どんな支援をしているかについて紹介した。

当展覧会に関しては、2022 年 10 月 13 日～11 月 9 日までの 28 日間で、3733 人の来館者があった。昨年度の同時期に開催された別の展覧会は約 3 か月の期間中、約 4000 人の来館者数であったことから、昨年度と比較して、かなり多くの来館者に弊学の経済学部におけるゼミ活動展示を見てもらうことができた。また展覧会を見た学外参観者の方から「私もケニア紅茶やコーヒーを飲んでみたいので、どこで購入したのか教えてください」等の問合せや、「素晴らしい活動なので、地域の学校や PTA 等で講演したりしてもっと学外でも「PR して欲しい」などの意見も寄せられるなど全般的に好意的な反応をいただいた。

(2) 講演会

青舎祭初日である 10 月 15 日(土)に博物館セミナー室(定員 30 名)で「アジア・アフリカの子供たちと一緒に昼ご飯を食べよう—1 食 20 円で発展途上国の子供たちに笑顔と健康を届ける TFT 活動について—」というテーマで TFT 活動に関連する講演会を実施した。講演会参加者は 20 名で参加者中、11 名分のアンケートを回収。9 割の方が「とても良かった/良かった」「もっと詳しく話を聞きたかった」「学生さんの活動が具体的に分かって良かった。良い活動なので、もっと学外に紹介すべき」という好意的評価をいただいた。

⑤青舎祭での T F T 活動 (TFT パンケーキ・エコステーション担当)

青舎祭開催期間の 10 月 15-16 日、ゼミで模擬店に出典した。健康に良い全粒粉のパンケーキに食べられる容器「もぐカップ」を使用し、プラスチック削減も目指した「TFT パンケーキ」を販売した。パンケーキは 2 日間で 210 食を売り上げ、販売と同時に学外の一般来訪客に弊学での SDGs 活動を宣伝するなど、活動 P R に高い効果があった。また通常青舎祭実行委員が担当する学園祭でのゴミ分別収集作業を、2 日目に永井ゼミ学生有志で担当し、学外の方々へゴミ分別回収パネル表示や案内等を行った。

⑥企業との意見交換会

上記の食べられる容器「もぐカップ」は飲料メーカーであるアサヒグループジャパンの SDGs 会社である「アサヒユウアス」の製品である。当ゼミでは、プラスチックゴミ削減のため「もぐカップ」を使用したメニューを 200 個完売したことをきっかけに、アサヒグループジャパン、コーポレートコミュニケーション戦略部、ローカル SDGs 専任リーダーの宮野氏とゼミ学生達との意見交換会を 11 月 24 日に「演習 II」で行った。

意見交換の結果、アサヒグループジャパンが進めているリサイクル活動である「MUP プロジェクト」と「MUP ワークショップ」をアサヒグループジャパンと永井ゼミの共催で青舎祭において開催できないか現在検討中である。アサヒグループジャパン側の了承は得ているため、帝京大学からの許可が下り次第、八王子キャンパスでペットボトルゴミ回収活動である「MUP プロジェクト」を実施したいと考えている。

⑦夏季・冬季経済学部ゼミ研究報告会

夏季研究会では「TFT 活動経過報告」及び「博物館展覧会企画」に関するプレゼンを行い、冬季研究会では博物館展覧会や青舎祭での活動結果を踏まえて「TFT 活動総括」及びSDGsゼミとして「東京都太陽光パネル導入義務化」に関する研究報告を行い、PBL 演習の典型的事例として会場から多くの質問を得るなど高い評価を得た。

■本企画の成果：

発展途上国児童の給食費となる寄付付き学食である「TFT メニュー」の提供により、学生たちにおけるSDGs1、2、3、4、10、15、17への知識を深めた。学内でのSDGs活動ということで、この活動をきっかけに食糧問題・貧富の格差・フードロス等に関心を持った学生も多く、第13弾「韓国風冷麺」では、2時間弱で222食を完売するなど高い反響を得た。これらの成果から今期のTFT活動の様子は多摩地区のタウン誌や大学ホームページやTwitter、Facebook等で数多く掲載された（「本学HP・Twitterにおける紹介」参照）。

またTFTメニューの食数が順調に伸びる中、食堂事業者の銀座スエヒロ（ソラティオキッチン）からゼミ学生たちに「青舎祭でもTFTメニューを提供しませんか」という提案があったため、イベント向けの華やかでかつ低カロリーのメニューとして「TFT メキシカンタコス」を銀座スエヒロに提案し採用された。青舎祭期間の10月15-16日にソラティオキッチンにてタコスを提供した結果、2日で165食を完売する等、学外の一般の来訪客からも好評を得た。同時期にソラティオキッチン向かい壁でゼミ活動を紹介するパネル展示を行っていたため、親子連れに「美味しい物を食べて寄付できるなんていい取り組みだね」「知らないうちに寄付できてラッキー」という好意的な感想をいただいた。

また11月には運動部の学生が多い帝京大学の学生から「ヘルシーだけど肉が沢山のメニューが食べたい」という要望に応じて、「大豆ミート」を使用したハンバーガー「フェイクバーガー」を提供し、これも116食販売するなど好評で、「低カロリー」という縛りのあるTFTメニューの可能性を拡げた。

これらの経験を通じて皆で協力し、データを集めつつカロリーや原価率等を考えながら確実に売れるヘルシーメニューを考案するという難しい課題を解決していくことで、ゼミ学生の調査立案力・企画力・課題解決力を高めた。

学業面では、TFT活動企画案を9月の「経済学部ゼミ研究報告会(夏季)」で報告し、そこでの質疑応答を踏まえて10月からの企画を修正・実施した。さらに1月の「経済学部ゼミ研究報告会(冬季)」にてTFT活動結果報告やSDGsゼミとして「東京都太陽光パネル導入義務化」に関する研究報告を行い、PBL演習の典型的事例として会場から多くの質問を得るなど高い評価を得た。

また今年度まで鳶友館食堂（LEOC）ではTFTメニューを「30-50食限定」で提供してもらっていたが、ソラティオキッチンでのTFTメニューの好評を受け、今後はゼミ学生と提供メニューを打合せし、来年度からは「80-100食以上」でのTFTメニューの提供を行う

予定である（蔦友館食堂でも最後の TFT メニューで「ビビンバ」を提供し、70 食を完売している）。

以上の成果から、今年度のゼミ目標であった「帝京大学における学内 SDGS 活動の学外 PR」をある程度達成し、青舎祭における各活動によって帝京大学の教育指針である「実学・国際性・開放性」の学外 PR に一定の効果があったと考えている。

■**本企画の実施日程**：*蔦友館食堂における TFT メニューは「限定 30~50 食」で提供。

【2022 年度】

- (1)5/19：第 9 弾「チキンソテー レモン豆乳ソース」蔦友館食堂、42 食
- (2)5/25：第 10 弾「タコライス」ソラティオキッチン、163 食
- (3)6/16：第 11 弾「よだれ鶏」蔦友館食堂、55 食
- (4)6/22：第 12 弾「夏野菜ジャージャー麺」ソラティオキッチン、194 食
- (5)7/20：第 13 弾「韓国風冷麺」ソラティオキッチン、222 食
- (6)7/21：第 14 弾「チキンオーバーライス」蔦友館食堂、41 食
- (7)10/15-16：第 15 弾「TFT メキシカンタコス」ソラティオキッチン、257 食
- (8)10/15-16：第 16 弾「TFT パンケーキ」青舎祭模擬店、210 食 ※「もぐカップ」使用。
- (9)10/27：第 17 弾「低糖質チキンサラダボウル」蔦友館食堂、44 食
- (10)11/17：第 18 弾「フェイクバーガー」ソラティオキッチン、116 食
- (11)12/13:第 19 弾「ビビンバ」蔦友館食堂、70 食
- (12)12/21：第 20 弾「韓国風チゲラーメン」ソラティオキッチン、198 食

提供食数

2022 年度合計：1,612 食

2021 年度（607 食）+2022 年度（1,612 食）通算 2,219 食

■**寄付額**：

発展途上国児童給食費への寄付として、今年度は「1,612 食×20 円=32,240 円」を国際 NPO 法人の TFT ジャパンに寄付した。2021 年度+今年度通算で、「2,219×20 円=44,380 円」の寄付を行っている。

■**本企画の参考サイト**：

「TABLE FOR TWO international」HP：<https://jp.tablefor2.org/>

■**TFT 活動取材記事**：

①大学ホームページ

<https://www.teikyo-u.ac.jp/topics/2022/0228>

②Facebook

https://www.facebook.com/permalink.php?story_fbid=4575342835898671&id=375355882564075

③帝京総合博物館 HP 「20 円につながる世界」

<http://teikyo.jp/museum/exhibition/nagaizemi/>

④「アサヒグループジャパンとの意見交換会」

<https://www.teikyo-u.ac.jp/topics/2022/1208-3>

⑤「帝京大学 SDGs 特集ページ」

<https://www.teikyo-u.ac.jp/university/action/teikyosdgs/report017/history>

※上記の特集記事は、国際 NPO の TABLE FOR TWO 事務局による【TFT メールマガジン 3 月号】(2023 年 3 月 2 日発行)の中で「本質から考え学生と取り組む TFT～帝京大学永井ゼミ～」として紹介され、約 2000 企業・団体に向けて配信された。

⑥『アサココ』10 月 6 日 241 号、3 面、取材記事「アジア・アフリカの子どもたちに給食を」※多摩地区のタウン誌。

【TFT 活動風景 2023.4-2022.12】

① 2022 年度第一弾 TFT 提供メニュー(葛友館)「チキンソテー レモン豆乳ソース」



③ 韓国風冷麺盛付打ち合わせ(ソラティオキッチン)



② 取材風景



④ 食堂内 POP 置き作業(葛友館)



⑤ POP制作



⑥ 食堂前案内 (ソラティオキッチン)



⑩ 博物館内のゼミ活動展示会の様子



⑦ 博物館での講演会



⑪ 展示パネル前、集合写真 (ソラティオキッチン)



⑧ 展示用パネルの制作



⑨ 展示会の展示準備中

⑫ 青舎祭時提供「TFT メキシカンタコス」



⑬ 青舎祭「TFT メキシカンタコス」提供時の食堂案内（ソラティオキッチン）



⑮ もぐカップ



⑭ TFT パンケーキ模擬店



⑩ 青舎祭「エコステーション」担当



⑪ 夏季経済学部ゼミ研究報告会



⑫ フェイクバーガー



⑬ 冬季経済学部ゼミ研究報告会



⑭ アサヒグループジャパンとの SDGs 活動に関する意見交換会



⑩2022 年度最後の TFT メニュー提供「韓国風ラーメン」(ソラティオキッチン)

